

トラック式

直伸式・屈折式

高所作業車

“求められる性能を常に発揮する”
スタンダードシリーズの使命です。



[直伸式]

4 t 車架装で最大の作業領域。
高広域作業マシン。

3.5 t 車架装で最大の地上高。
ゆとりのパフォーマンスマシン。

直伸ブームでは 3 t 車架装最大の地上高。
頼れる機動力マシン。

狭小地で威力を発揮する後方格納マシン。
クラス最小の車輛全高 2.79 m。



AT-270TG

AT-220TG

AT-170TG

AT-121TG (R)



[屈折式]

コンパクトに高機能をまとめました。

3 t 車クラスで最大の地上高です。

折曲ブームが伸縮して作業効率を高めます。

自在に折曲げ、さらに伸ばす。

車輛総重量 20 t 以下の汎用キャリア架装で
最大地上高は 40 m です。

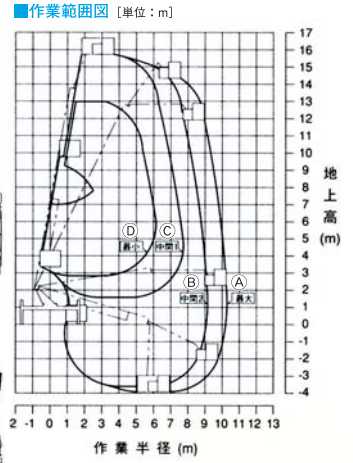
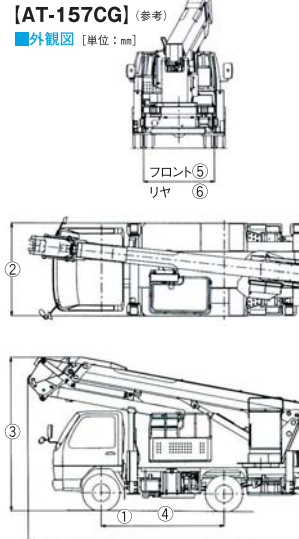
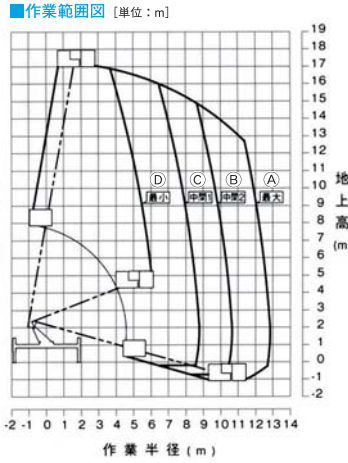
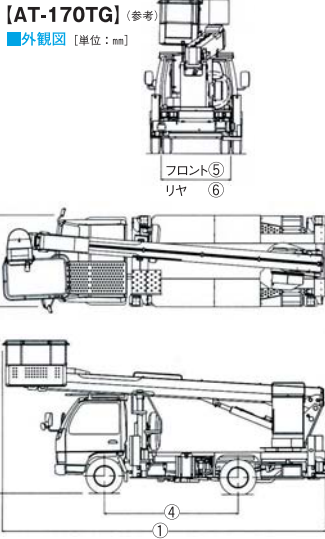


AT-157CG

AT-195CG

AT-255CG

〈ハイパーデッキ〉
AT-400CG



■トラック式高所作業車(直伸式)

型 式	AT-121TG (R)	AT-170TG	AT-220TG	AT-270TG
■バスケット				
積載荷重 (kg/名)	200/2	200/2	200/2	200/2
最大地上高 (m)	12.0	17.0	22.3	27.0
最大作業半径 (m)	9.8	12.8	14.4	15.4
内寸法(長さ×幅×高さ) (m)	0.7×1.0×0.9	0.7×1.2×0.9	0.7×1.2×0.9	0.7×1.2×0.9
スイング角度 (度)	左104°~右104°	左97°~右103°	左97°~右103°	左97°~右103°
■ブーム				
起伏角度/上げ速度 (度/s)	-17.5°~80°/30	-16°~80°/35	-14°~80°/50	-12°~80°/50
長さ (m)	3.78~9.15	6.20~15.48	6.85~20.92	8.0~25.52
伸ばし速度 (m/s)	5.37/28	9.28/44	14.07/50	17.52/60
旋回角度 (度)	360°連続	360°連続	360°連続	360°連続
旋回速度 (min ⁻¹ /rpm)	1.0	1.2	1.0	1.0
■アウトリガ				
	張出幅フロント 1.86m リヤ 1.67m	(A)最大張出幅3.7m (B)中間2張出幅3.06m (C)中間1張出幅2.42m (D)最小張出幅1.68m	(A)最大張出幅4.1m (B)中間2張出幅3.36m (C)中間1張出幅2.66m (D)最小張出幅1.84m	(A)最大張出幅4.4m (B)中間2張出幅3.6m (C)中間1張出幅2.84m (D)最小張出幅1.94m
■架装対象車(クラス)				
車輛総重量 (kg)	6965	6585	7505	7700
①全長×②全幅×③全高 (mm)	5100×1880×2790	6680×1880×3200	7455×2050×3350	8620×2180×3650
④ホイールベース (mm)	2475	2750	3430	3850
トレッド(⑤フロント/⑥リヤ) (mm)	1475/1425	1500/1425	1665/1520	1770/1660

■トラック式高所作業車(屈折式)

型 式	AT-157CG	AT-195CG	AT-255CG	AT-400CG
■バスケット				
積載荷重 (kg/名)	200/2	200/2	200/2	360
最大地上高 (m)	15.7	19.6	25.5	40.0
最大地下深さ (m)	3.9	4.8	7.1	—
最大作業半径 (m)	10.2	11.1	13.5	19.0
内寸法(長さ×幅×高さ) (m)	0.7×1.2×0.95	0.7×1.2×0.95	0.7×1.2×0.95	2.12×1.0×1.0
スイング角度 (度)	左95°~右95°	左95°~右95°	左93°~右93°	左60°~右60°
■ブーム				
起伏角度/上げ速度 (度/s)	-16°~80°/35	-16°~80°/35	-12°~80°/50	0°~170°/100
長さ (m)	5.41~11.93	6.55~15.27	7.70~18.26	7.96~19.9
伸ばし速度 (m/s)	6.52/30	8.72/48	10.56/52	11.94/55
旋回角度 (度)	360°連続	360°連続	360°連続	360°連続
旋回速度 (min ⁻¹ /rpm)	1.0	1.0	1.0	0.8
■折曲げブーム				
屈伸速度 (度/s)	170/30	170/30	170/65	—
長さ(伸ばし速度) (m)	3.05	3.75	4.70~6.65 (1.95m/20s)	—
■アウトリガ				
	(A)最大張出幅3.3m (B)中間2張出幅2.77m (C)中間1張出幅2.27m (D)最小張出幅1.67m	(A)最大張出幅3.7m (B)中間2張出幅3.05m (C)中間1張出幅2.42m (D)最小張出幅1.67m	(A)最大張出幅4.4m (B)中間2張出幅3.6m (C)中間1張出幅2.83m (D)最小張出幅1.94m	(A)最大張出幅5.2m (B)中間2張出幅4.14m (C)中間1張出幅3.1m (D)最小張出幅2.08m
■架装対象車(クラス)				
車輛総重量 (kg)	6815	7105	7970	19900
①全長×②全幅×③全高 (mm)	5650×1880×3130	6800×1880×3250	7960×2170×3510	11900×2490×3400
④ホイールベース (mm)	2500	2750	3810	7050
トレッド(⑤フロント/⑥リヤ) (mm)	1390/1435	1390/1435	1785/1615	2050/1845

トラック式

直伸式・橋梁点検車

高所作業車

スーパーデッキ
SuperDeck

多彩な作業領域や積載量で
さまざまな現場状況にも確実に対応します。

[直伸式]

●最大地上高 19.7 m

AT-200S

●最大地上高 14.8 m

AT-150S

●最大地上高 12.0 m

AT-120SR

●最大地上高 9.9 m

AT-100SR

4次元作業空間へ

BT-110

**BRIDGE
CHECKER**
ブリッジチェッカー

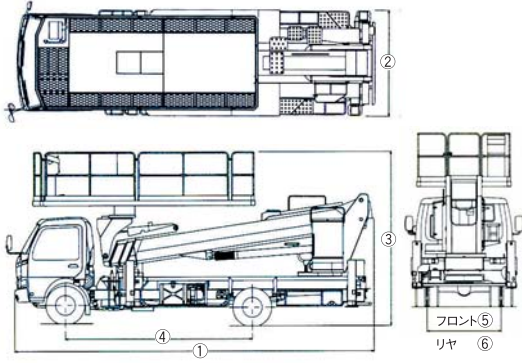
[橋梁点検車]

テクノロジーが新たな作業空間を開拓。
高所作業に追加された、乗り越え機能。
それは壁のむこう側を制し、
そして深い懐の領域へと到達する。
さらに車輛の移動によって生み出される、
新たなモバイル空間。
シンプルな操作性でありながら、
そこには確かな安全性がある。

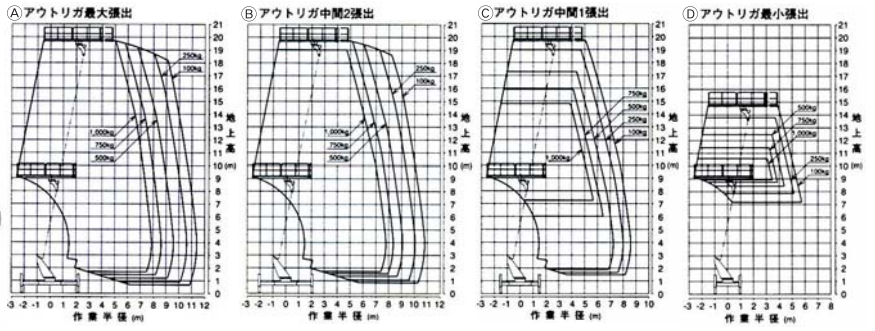
- 最大作業半径5.6m
歩道などのある現場での作業もラクにこなせます。
- 最大地上高さ6.8m
新設高速道路の防音壁+ノイズレデューサを
余裕で乗り越えます。
- 最大地下深さ7.3m
余裕のポストストローク。
桁厚の橋梁差し込みもラクにアプローチできます。
- デッキ旋回角度110°
200kgまたは2名積載のデッキは、
110°の旋回角度を確保しています。

スーパーデッキ・橋梁点検車 (ブリッジチェッカー)

【AT-200S】 (参考) ■外觀図 [単位: mm]



■作業範囲図 [単位: m]



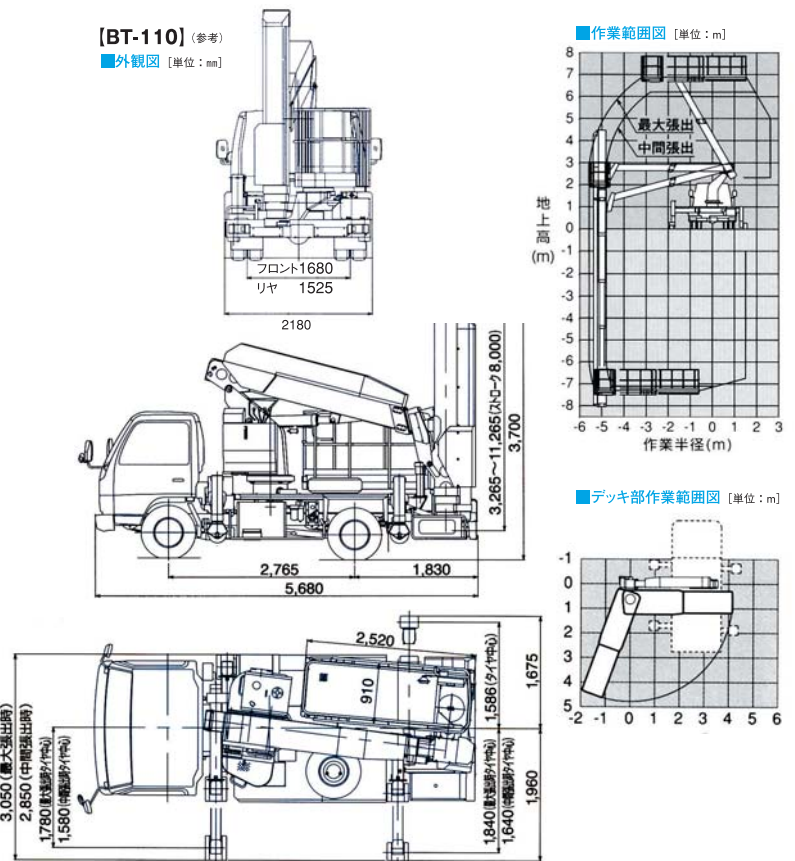
トラック式高所作業車 (スーパーデッキ・直伸式)

型 式	AT-100SR	AT-120SR	AT-150S	AT-200S
■デッキ				
積載荷重	kg	1000	1000	1000
最大地上高	m	9.9	12.0	14.8
最大作業半径	m	7.6 (400 kg積載時)	9.8 (170 kg積載時)	10.9 (100kg積載時)
外寸法 (長さ×幅×手摺り高さ)	m	2.5×1.55×0.91	3.0×1.75×1.01	4.6×1.94×1.01
旋回角度	度	360°連続	360°連続	360°連続
旋回速度 (min-1/rpm)		1.0	1.0	0.9
■ブーム				
起伏角度/上げ速度 (度/s)		-17°~78°/43	-17°~78°/43	-17°~79°/46
長さ	m	3.05~6.85	3.715~8.885	4.6~11.3
伸ばし速度 (m/s)		3.8/26	5.17/35	6.7/42
旋回角度	度	360°連続	360°連続	360°連続
旋回速度 (min-1/rpm)		1.0	1.0	0.8
■アウトリガ				
		①最大張出幅3.2m	①最大張出幅3.48m	①最大張出幅4.1m
		②中間2張出幅2.63m	②中間2張出幅2.88m	②中間2張出幅3.35m
		③中間1張出幅2.06m	③中間1張出幅2.28m	③中間1張出幅2.59m
		④最小張出幅1.49m	④最小張出幅1.67m	④最小張出幅1.83m
■架装対象車(クラス)				
車輻総重量	kg	6490	7145	6995
①全長×②全幅×③全高	mm	5160×1695×2980	6070×1880×3180	6645×2070×3570
④ホイールベース	mm	2505	3360	3395
トレッド(⑤フロント/⑥リヤ)	mm	1395/1240	1400/1425	1680/1525

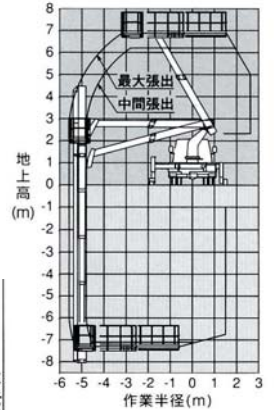
トラック式高所作業車 (橋梁点検車)

型 式	BT-110	
■デッキ		
積載荷重 (kg/名)	200/2	
最大地上高	m	6.8
最大地下深さ	m	7.3
最大作業半径	m	5.6 (デッキ90°回転時)
外寸法 (長さ×幅×手摺り高さ)		
縮小時	m	2.5×0.91×1.0
伸長時	m	4.5×0.88×1.0
旋回角度	度	110° (格納位置基準から右)
旋回速度 (度/s)		110°/26
■ブーム		
起伏角度/上げ速度 (度/s)		-15°~60°/34
長さ	m	3.185~5.36
伸ばし速度 (m/s)		2.175/20
旋回角度	度	左側105°、右側70°
旋回速度 (度/s)		175°/64
■ポスト		
長さ	m	3.265~11.265
伸ばし速度 (m/s)		8.0/60
■アウトリガ		
フロント	m	最大張出幅3.56、中間張出幅3.16
リヤ	m	最大張出幅3.43、左1.84 右1.59 中間張出幅3.23、左1.64 右1.59
■架装対象車(クラス)		
車輻総重量	kg	7970
全長×全幅×全高	mm	5680×2180×3700
ホイールベース	mm	2765
トレッド(フロント/リヤ)	mm	1680/1525

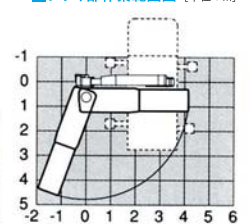
【BT-110】 (参考) ■外觀図 [単位: mm]



■作業範囲図 [単位: m]



■デッキ部作業範囲図 [単位: m]



■トラック式高所作業車特有の事故事例

トラック式高所作業車、特有の事故事例より、その防止措置を考えましょう。また、作業床上で未熟者による、操作ミスや安全装置の不正解除による、挟まれ事故にもご注意ください。

(1) 走行移動時の事故例

<下り坂カーブでの追突事故> 工事が終わり帰社途中の高所作業車が、峠道下りの緩やかなカーブを走行中、車体が曲がりきれずに外側のガードレールに追突。

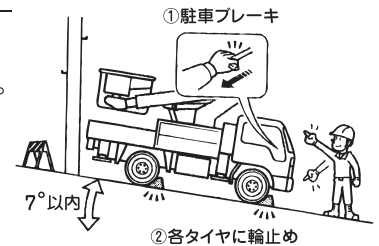
<原因> スピードの出し過ぎと、車体質量が外側へ偏っていたため、曲がれなかった。高所作業車はブームに質量があり、重心が機種により変わります。また公道上でUターン中、車体が振られ転倒するケースもあるので、急激なハンドル操作は避けましょう。

(2) アウトリガー設置時の事故例

<下り坂での逸走事故> 坂道で、前下がりに駐車し設置。高所作業を終了し、アウトリガーを格納操作時、坂下(前)側から格納したところ、車体が動き出し、坂下へ逸走。

<原因> 格納手順のミス。坂道や傾斜地で使用する際は、前・後ろの順でジャッキアップ。格納時は後輪側から操作してください。

●高所作業車は、一般公道での作業時、張り出しているアウトリガーに通行車輛が追突するケースもあるので、ガードマン等、見張りの配置も計画的に行いましょう。



■高所作業車は伸縮とソフトタッチで!

作業床の上で(バケット、バスケットにて)被災した方の大半がブームの操作を誤ったために障害物にはさまれたり、ぶつかったりしたのですが、その中でもブームの旋回中や起伏させている場合が多いのはなぜか分かりますか?

(1) 起伏・旋回時の錯覚

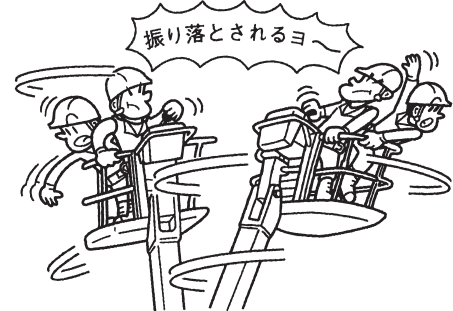
ブームを最大限に伸ばして、起伏・旋回した時の先端部(作業床)でのスピードは、あなたが思っているよりも相当早いことを覚えておいてください。しかも、急に操作して動かしたり止めた時のはずみは予想外に大きく、「つかまっていなくて飛び出しそうになった」、こんな経験をお持ちでしょう。これは、ブームを縮めた時よりも先端部が描く円弧が大きくなるからで、またブームもしなるためピタリと止めるのが難しくなります。急な操作は止め、レバーを入れるときと戻すときは、ゆっくり操作してください。その上で、安全な作業位置に動かしていきましょう。

(2) 円運動の感覚誤差

また、旋回時に右や左に操作しても平行に移動するのではなく、起伏も真下に降りる訳ではありませんので、この感覚をしっかりと身につけないとあたらないと思っていた梁にバケットをぶつけたり、障害物に衝突し、そのはずみで転落あるいは、はさまれたりすることがあります。

(3) 伸縮運動をうまく使い安全作業を!

これら旋回・起伏に比べ、ブームの伸縮はゆっくりとしたスピードで、しかもブームの長さに関係なくそのスピードは一定です。起伏の角度さえ頭にいれておけば伸ばした時の到達点はたやすく予測できますので、思わぬ事態を避けるためにも、障害物のない場所で先に旋回・起伏をしておき、目標のポジションに接近したら最後にブームの伸縮で位置決めするように心掛けてください。



一般に高所作業車は、レンタル調達の比率が最も高い機種です。しかし、作業計画・機種選択を安易に行い、トラブル発生となるケースが多いのも実情です。適正な機種で安全な作業を行ってください。

チェックポイント

(1) 目標物の確認(施工する場所の高さ)...

最大作業床高さ&作業範囲図のチェック=実際の作業現場の状況を確認し、高さに余裕をもって選ぶこと。

(2) 障害物の確認(作業車の活動範囲)...

ブームの形状と作業範囲図のチェック=上空の障害物(架空線・看板・街路灯・樹木・土塀などの確認)。

(3) 作業場所の確認(アウトリガーの完全張出)...

作業範囲図・アウトリガー張出寸法のチェック=張出し幅が充分に取れない条件では作業範囲が制限されます。

(4) 地表面の確認(地盤の状況の確認)...

段差・傾斜・凸凹・軟弱地など、地表面の確認を!(地盤が崩れて転倒しないように)

(5) 積載物の確認(作業道具・材料の重さは?)...

積載荷重と作業床寸法のチェック=定員と積載搭載の確認。オーバーすると、安全装置が働き動作を停止または規制がかかります。

(6) 作業者の確認(有資格者を選ぶこと)...

最大作業床高さや資格証の確認=10m未満の機種は「特別教育」、越えると「技能講習」修了者でないと運転操作できません。

(7) 走行路の確認(車輛の運送経路のチェック)...

機体寸法(輸送時の最大高さ)のチェック=極端に低いガードや門扉のチェックを!

◆その場に適さない高所作業車を使用することにより、作業に無理が生じ、事故に結びつく例が多く見られます。

Memo



A series of horizontal dotted lines for writing, starting from the top of the page and extending down to the bottom, providing a template for a memo.

エンジン・クローラ式

スーパーデッキ・屈折式

高所作業車

NUL
シリーズ

スーパーデッキ

重荷重高所車

屈折式

高い信頼性と安全性を備えた
21世紀の手足となる5タイプ。

高架、外壁、内装工事などの高所作業は
もちろん、地下鉄やトンネル工事などにも
効果的なNULシリーズ。多関節を利用し、
あらゆる工事現場で活躍しています。

NUZ 090 D

NUL 180J

屈折式

屈折式

屈折式

NUL 120-2

NUL 070R-2

NUL 090-3

エンジン・クローラ式高所作業車 (屈折式・スーパーデッキ)

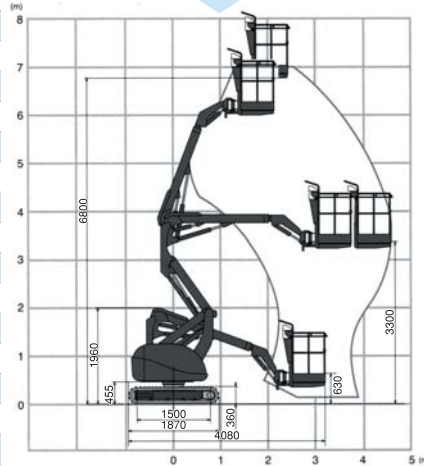
■エンジン・クローラ式高所作業車 (スーパーデッキ・屈折式)

型 式	NUL070R-2 (屈折式)	NUL090-3 (屈折式)	NUL120-2 (屈折式)	NUL180J (屈折式)
全長×全幅×全高	mm 4080×1650×1960	5100×1750×2260	5340×2050×2370	5980×2250×2350
車輛質量	kg 2300	3750	3850	8970
最大接地圧/平均接地圧	kgf/cm ² 1021/0.333	1519/0.410	1256/0.357	113/43
エンジン形式	D722 (クボタ)	S3L2 (三菱)	S3L2 (三菱)	3CE1 (いすゞ)
定格出力/回転数	kw/min ⁻¹ (ps/rpm) 7.36/2000 (10/2000)	19.9/2400 (27/2400)	19.9/2400 (27/2400)	21.4/2400 (29.1/2400)
最大トルク/回転数	N·m/min ⁻¹ (kgf·m/rpm) 38.2/1600 (3.9/1600)	83/2000 (8.5/2000)	83/2000 (8.5/2000)	107.2/1440 (10.9/1440)
総排気量	ℓ (cc) 0.719 (719)	1.318 (1318)	1.318 (1318)	1.642 (1642)
燃料タンク容量 (軽油)	ℓ 18	40	40	77
燃料消費率	g/kw-h 272	260	260	251
バスケット定格荷重	N (kgf) 1470 (150)	1960 (200)	1960 (200)	1960 (200)
バスケット内寸法 (幅×奥行×高)	mm 770×620×1000	1130×730×1000	1130×730×1000	1130×730×1000
最大作業床高さ	m 6.8	9.1	12.1	18.09
最大作業半径	m 4.4	6.4	6.0	8.7
首振角度	度 左90°～右45°	左90°～右45°	左90°～右45°	左70°～右45°
伸縮長さ	mm 800	1500	2000	3600
起伏角 (第1)	度 55°	65°	65° (第1・2)	-15°～65° (第1・2)
起伏角 (第2)	度 70°	70°	70° (第3)	0°～70° (第3)
旋回角度	度 360°	360°	360°	360°
走行速度	km/h 1.0/2.0 (2速)	1.4/2.4 (O.P)	1.3/2.3 (OP)	0.9/1.6/2.9 (低/高/2速)
常用油圧	Mpa (kgf/cm ²) 17.15 (175)	20.6 (210)	20.6 (210)	24.5 (250)
油圧ポンプ	歯車式3連	歯車式3連	歯車式3連	ピストン式2連×歯車式1連
電圧	V 12	12	12	12

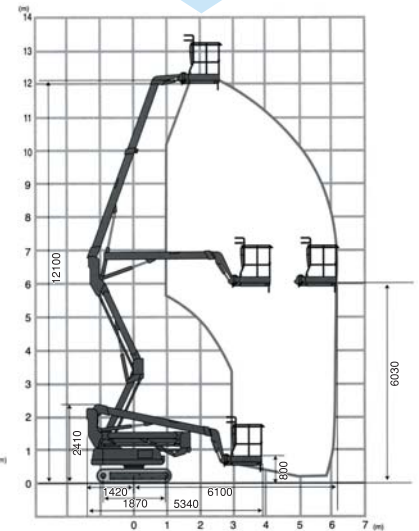
型 式	NUZ090 D (スーパーデッキ)
全長×全幅×全高	mm 3770×2250×2695
車輛質量	kg 7140
最大接地圧/平均接地圧	kgf/cm ² 0.96/0.580
エンジン形式	S3L2 (三菱)
定格出力/回転数	kw/min ⁻¹ (ps/rpm) 19.9/2400 (27/2400)
最大トルク/回転数	N·m/min ⁻¹ (kgf·m/rpm) 83/2000 (8.5/2000)
総排気量	ℓ (cc) 1.318 (1318)
燃料タンク容量 (軽油)	ℓ 77
燃料消費率	g/kw-h 260
デッキ定格荷重	N (kgf) 5884 (600)
デッキ内寸法 (幅×奥行×高)	mm 3150×2050×900
最大作業床高さ	m 9.28
最大作業半径	m 4.78 (デッキ旋回時)
首振角度	度 左90°～右90°
伸縮長さ	mm 1500
起伏角 (第1)	度 55°
起伏角 (第2)	度 65°
旋回角度	度 360°
走行速度	km/h 0.9/1.6 (2速)
常用油圧	Mpa (kgf/cm ²) 24.5 (250)
油圧ポンプ	プランジャピストン式2連
電圧	V 12

■外観図 (作業範囲図)

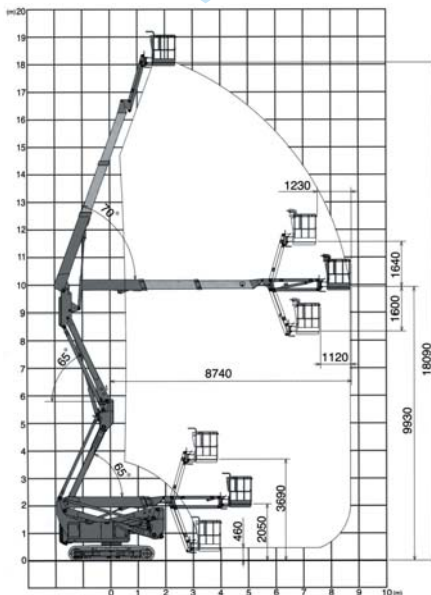
NUL070R-2 (屈折式)



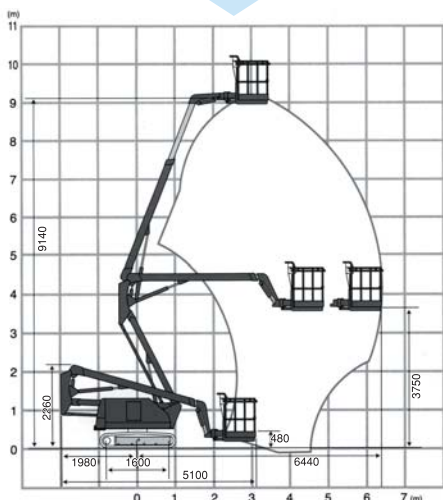
NUL120-2 (屈折式)



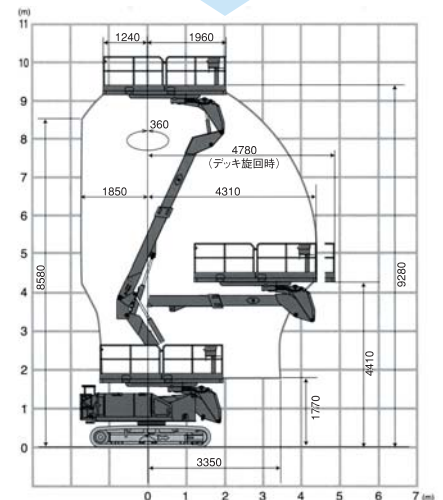
NUL180J (屈折式)



NUL090-3 (屈折式)



NUZ090 D (スーパーデッキ)



高所作業車 (室内・設備工事向)

バッテリー式
垂直昇降 (シヤース) 型
ホイール式 & クローラ式
高所作業車

ENTL
シリーズ
ホイール式

屋外保管
OK

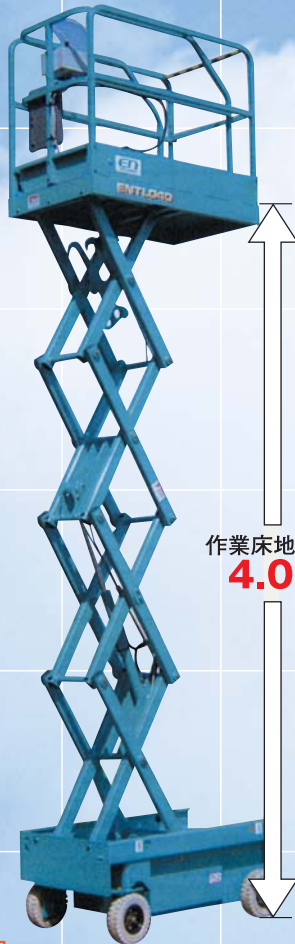
作業床全長
1200mm

作業床全幅
650mm

最大積載荷重
250kg

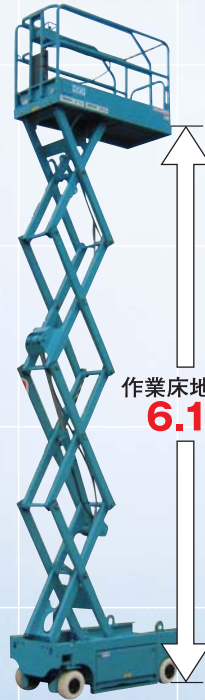
機体質量
550kg

乗り降りに便利
な跳ね上げ式の
バーを採用。



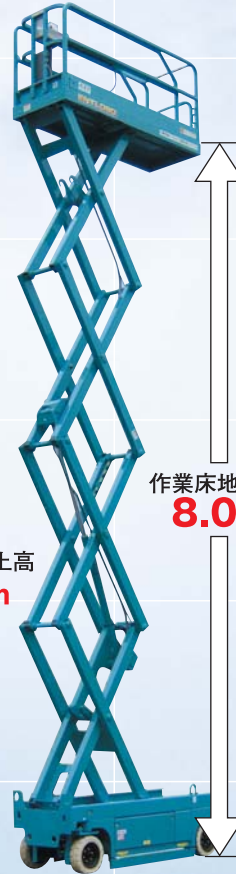
作業床地上高
4.0m

ENTL 040



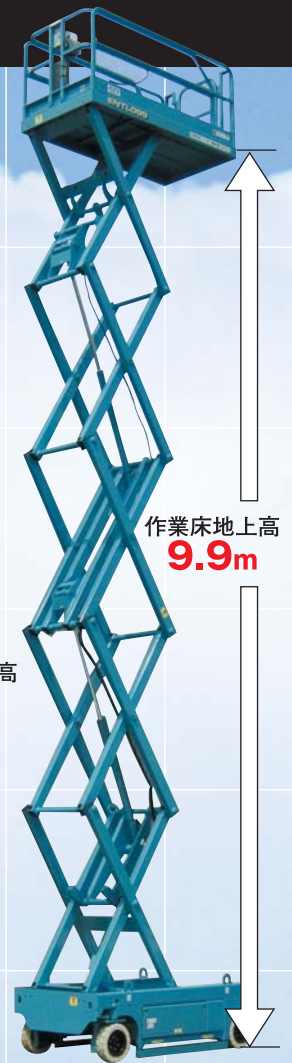
作業床地上高
6.1m

ENTL 061



作業床地上高
8.0m

ENTL 080

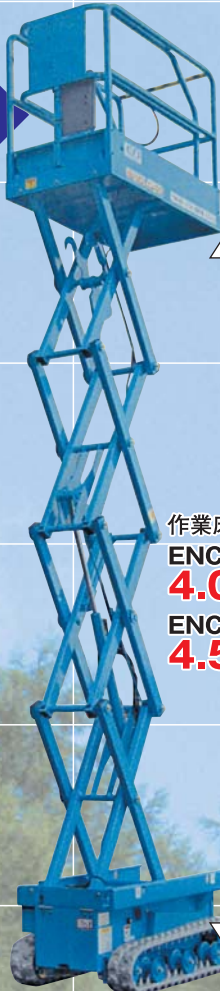


作業床地上高
9.9m

ENTL 099

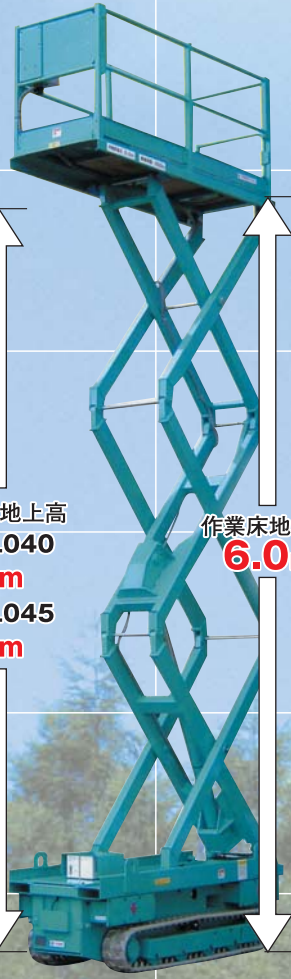
ENCL
シリーズ
クローラ式

屋外保管
OK



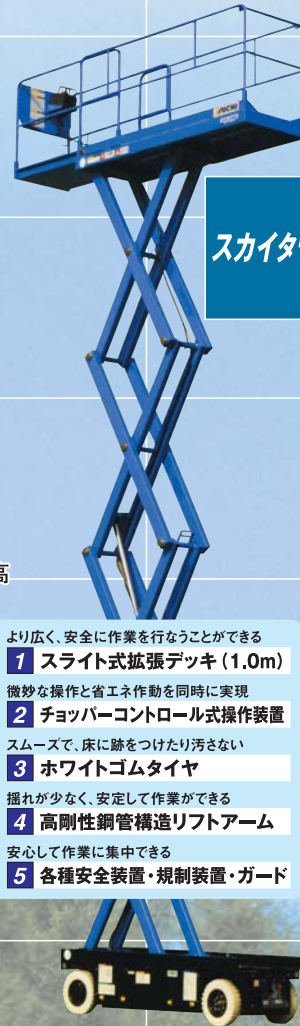
作業床地上高
ENCL040
4.0m
ENCL045
4.5m

ENCL 040/045



作業床地上高
6.0m

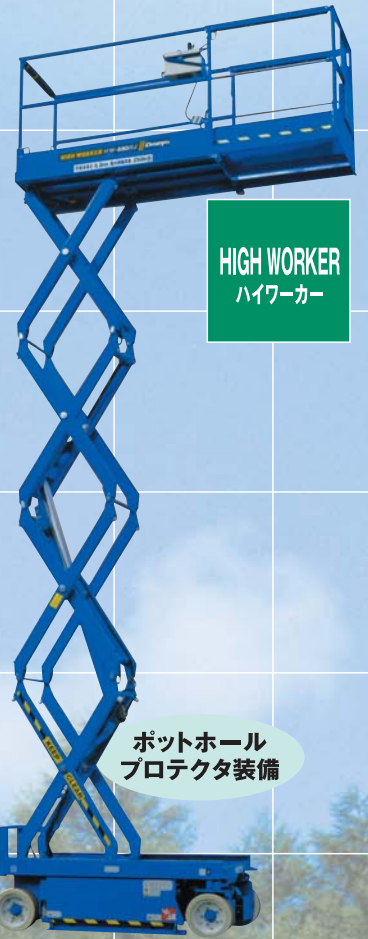
ENCL 060



スカイタワー

- より広く、安全に作業を行なうことができる
- 1** スライド式拡張デッキ (1.0m)
微妙な操作と省エネ作動を同時に実現
- 2** チョッパーコントロール式操作装置
スムーズで、床に跡をつけたり汚さない
- 3** ホワイトゴムタイヤ
揺れが少なく、安定して作業ができる
- 4** 高剛性鋼管構造リフトアーム
安心して作業に集中できる
- 5** 各種安全装置・規制装置・ガード

SV08B



HIGH WORKER
ハイワーカー

ポットホール
プロテクタ装備

HW-580RJ

■バッテリー式・垂直昇降(シザース)型/ホイール式高所作業車

型式	機械重量(kg)	最大積載荷重(kg)	最大地上高(mm)	最低地上高(mm)	走行速度	入力電源	バッテリー電圧	バッテリー容量	バッテリー	全長×全幅×全高(mm)
ENTL040	550	250	4000	870	0~3km/h	単相AC100V	DC24V	100Ah(5時間率)	EB100×2個	1280×750×1850
ENTL061	1330	250	6100	970	0~4.0km/h	単相AC100V	DC24V	200Ah(5時間率)	EB100×4個	1750×750×1960
ENTL080	2250	250	8000	1170	0~3.6km/h	単相AC100V	DC24V	200Ah(5時間率)	EB100×4個	2300×810×2160
ENTL099	2580	320	9900	1295	0~3.2km/h	単相AC100V	DC24V	200Ah(5時間率)	EB100×4個	2300×1200×2285
SV08B	2250	250	7900	1120	0~3.0km/h	単相AC100V	DC24V	200Ah(5時間率)	EB100×4個	2390×810×2120
HW-580RJ	1170	250	5800	990	0~3.2km/h	単相AC100V	DC24V	220Ah(5時間率)	U-2200×4個	1780×820×1990

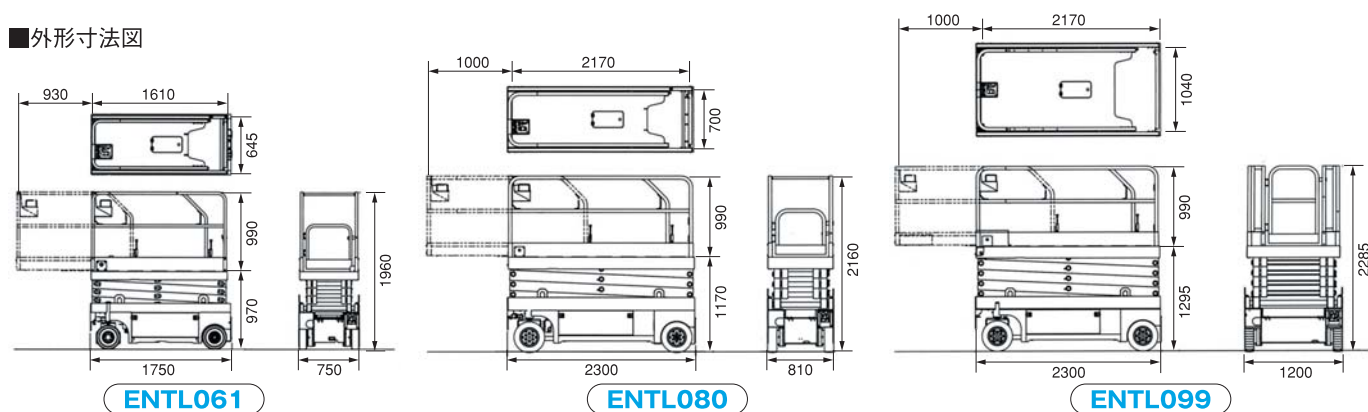
■バッテリー式・垂直昇降(シザース)型/クローラ式高所作業車

型式	機械重量(kg)	最大積載荷重(kg)	最大地上高(mm)	最低地上高(mm)	走行速度	入力電源	バッテリー電圧	バッテリー容量	バッテリー	全長×全幅×全高(mm)
ENCL040	600	250	4000	890	0~2/0~0.8km/h	単相AC100V	DC24V	100Ah(5時間率)	EB100×2個	1280×780×1840
ENCL045	640	230	4500	890	0~2/0~0.8km/h	単相AC100V	DC24V	100Ah(5時間率)	EB100×2個	1280×780×1840
ENCL060	1840	250	6000	1210	0.9~1.4km/h	単相AC100V	DC24V	200Ah(5時間率)	EB100×4個	2300×890×2170

ENTLシリーズ

作業効率はもちろん、運搬・維持・メンテナンスにも考慮したENTLシリーズ。
無足場工法による設備・内装工事、メンテナンス作業などの高所作業に最適です。屋外保管も可能です。

■外形寸法図



ENCLシリーズ

スピラン、ピポットターンが自由自在。
超軽量・コンパクト設計。
屋外保管も可能です。

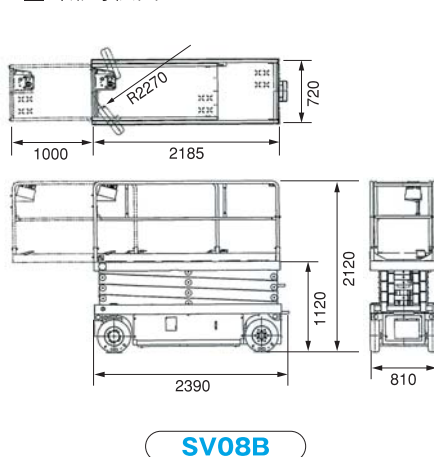
■外形寸法図



スカイタワー

大都市圏での複合ビル化等、再開発需要
に対応した屋内作業用小型高所作業車の
シリーズ開発を実現。

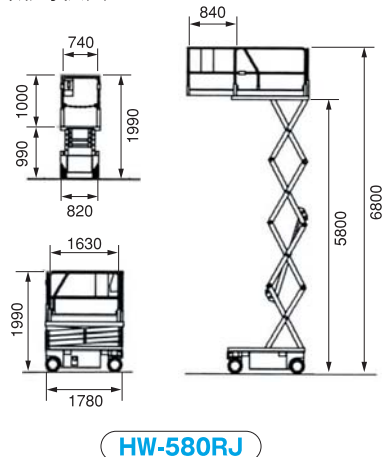
■外形寸法図



HIGH WORKER(ハイワーカー)

アウトリガ不要の省スペース、多様化する
現場で真価を発揮!
広範囲の高所作業で省力化・効率化・
安全性の向上に貢献。

■外形寸法図



高所作業車の運転には

作業床高さが2m以上10m未満のものは「特別教育」、
10m以上のものは「技能講習」の修了証が必要となります。

吊り上げ要領

●吊り具仕様

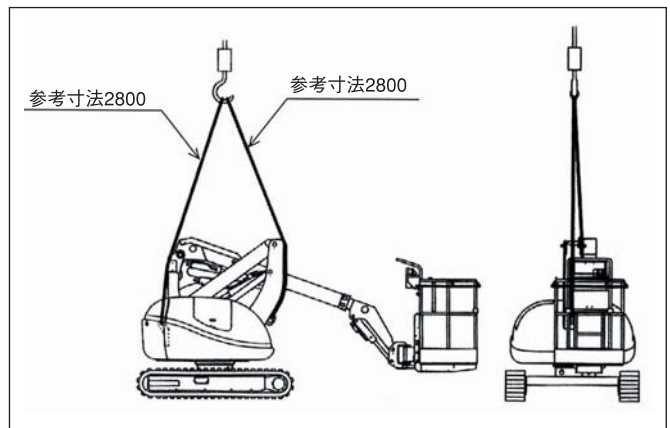
①ワイヤロープ

JIS13号ロープ相当以上
 φ12.5 片端アイロック・片端呼び
 12A形シンプル付

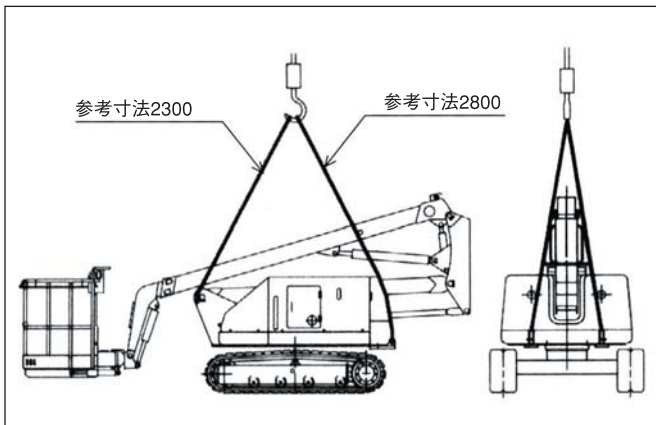
②シャックル

BCまたはSCの呼び14以上

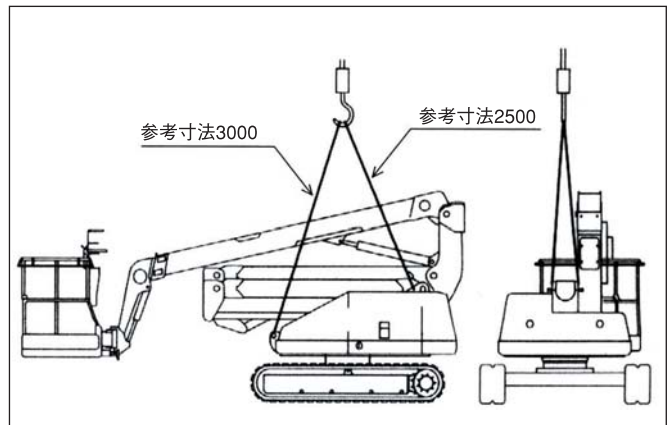
NUL070R-2



NUL090-3



NUL120-2



●本機を吊り上げる場合は、必ず有資格者が行い、下記要領に従って作業を行って下さい。

●本機は必ず格納状態にし、旋回ロックピンにて旋回ロックをして下さい。

●デッキ上は、積載0kg、無人として下さい。

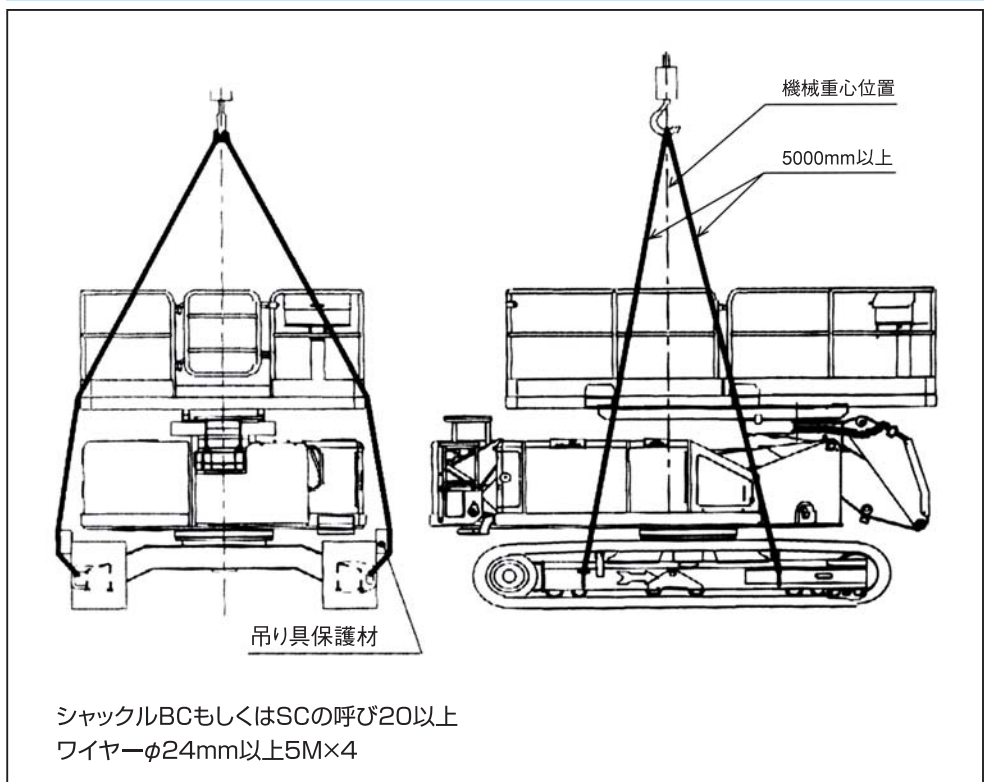
●車体の吊り上げ用フックに、吊り具を使用し、4ヶ所で吊り上げて下さい。

●吊り具は、右図の長さとし、機械を水平に保つ様に吊って下さい。

●吊り具が本機に干渉する個所は、保護材を使用して下さい。

●本機質量(約7500kg)を許容する、吊り具・クレーンを使用して下さい。

NUZ090D



■移動時に多い事故にご注意!

屋内用高所作業車での事故は ①作業中 ②移動時 ③用途外使用の3つに大別されますが、最近増加傾向にあるのは移動時の事故です。 ※下の事例では、(4)～(8)

<事故事例>

(1) 作業床から他へ乗り移ろうとして墜落。

禁止されているにもかかわらず、このような行為をされる方は多く、足を引っ掛けるなどバランスを崩して落ちてしまうケースがあります。便利で安全な機械をつかって不安全行為は許されません。

(2) 作業床の上に脚立などを立ててその上で作業をしながら転倒し墜落。

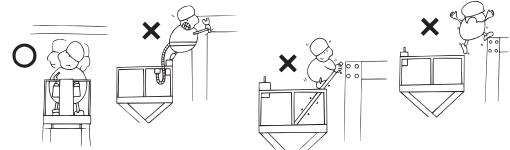
高さが足りないのか、機械の位置決めが悪いのか?とにかく高所作業車の上でもある程度揺れることもあり、不安定ですから絶対にしないでください。機種を選定時に、このようなことにならぬようご注意ください。

(3) 資材を乗せるなどの都合で、手すりを外して、そこから墜落。

身を守るガードをはずせば…、これも当然、起こるべくして、という災害です。資材を持ち上げるには、クレーンやホイストあるいはフォークリフトなど専用の機械を使って作業してください。また、積載荷重の厳守、偏荷重にもご注意ください。

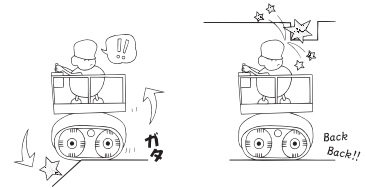
(4) 間口部、階段、段差に気付かず走行して転落。

作業位置を変えながらの作業が多いことから、上ばかり見て移動してしまい、危険エリアへ近づいたことが分からなかった、というケースです。あらかじめ危険箇所へ入らないような措置・誘導員の配置が必要です。



(5) 昇降・走行時に上部構造物に気付かず激突したり、はさまれる。

こんどは逆に頭への注意を怠ったことによるケースです。工事中の天井部分は様々なものが垂れ下がっており、部分的に暗い所もありますので、よく注意しておかないと危険です。もちろんヘルメットも必ず着用のこと。



(6) クローラタイプ、スロープのさしかかりでバウンド。

フラットな床面からスピードを落とさずに下りスロープに入ったため、勢いよく前傾してしまい、はずみで手摺にぶつかり被災。

(7) スロープを直角に降りず、斜めに降り転倒。

本来、傾斜面は直角に登り降りしなくてはならないところ、傾斜面を斜めに横切り転倒し被災。

(8) 下りスロープで、算木につまずき転倒。

ホイールタイプで算木がある傾斜した足場材を降りる際、勢い余って車体がバウンドし、操作を誤り足場材から転倒、被災。

以上のように、高所作業車を作業場所へ移動する際や格納時に起こす事故が増えています。特に、格納時は作業が済み、気持ちが緩んでいることもあって注意を要します。なお、作業時は、少しの距離しか移動・走行をしません、位置決めの関係で上ばかり見ていて、回りにぶついたり床面に置かれた資材などに乗り上げることも多いようです。

運転操作する場合の資格に関する規制

作業床の高さが10m未満 高所作業車運転特別教育修了者
作業床の高さが10m以上 高所作業車運転技能講習修了者

【注意1】高所作業車運転には「免許」がないので「技能講習」の資格で、全ての高所作業車の運転ができるものと解釈してください。

【注意2】「作業床の高さ」とは設置面から作業床下部までの高さです。

【注意3】「10m」の解釈は機種能力によるものであり、実際に作業する高さではありません。したがって「特別教育」で5mの高さ以上の作業をしないからと云って、最大高さが10mを超える機種でも運転できるわけではありません。

「高所作業車」とは、高所における工事、点検、補修等の作業に使用される機械であって作業床（各種の作業を行うために設けられた人が乗ることを予定した「床」をいう。）及び昇降装置その他の装置により構成され、当該作業床が昇降装置その他の装置により上昇、下降等をする設備を有する機械のうち、動力を用い、かつ、不特定の場所に自走する事ができるものをいうものであること。